

## プラセンタ注射 説明・同意書

いつも当院に通院してくださってありがとうございます。

プラセンタ注射はヒトの胎盤から抽出されるもので、医療機関のみで受けられる注射です。現在、厚生労働省で認可されているヒトプラセンタは、[ラエンネック][メルスモン]のみです。

[メルスモン]は更年期障害、[ラエンネック]は肝機能障害の改善の目的で保険適応が認められていますが、男性の更年期障害、または美容目的では自費診療となっておりますのでご了承ください。

### プラセンタの主な効果

#### ①肝機能障害の改善

ウイルスやアルコールで壊死した肝組織を修復し、肝細胞の脂肪変性を改善します。

#### ②抗老化作用

老化の原因となる活性酸素の発生を抑制・中和します。ダメージを受けた細胞を修復し新陳代謝を高める為、皮膚の代謝が正常化されます。

#### ③美肌効果

メラニン色素の生成を抑えてシミ・くすみを取り、コラーゲンの生成を支えます。

#### ④血行促進・保湿

末梢の血行を促し冷え性の改善、肌の保湿に効果があります。

#### ⑤抗アレルギー・抗炎症

アレルギー反応を抑制し、にきびや赤み・かゆみなどの炎症を抑えます。

#### ⑥更年期障害の改善

のぼせ・冷え・不眠・イライラ・頭痛・肩こり・疲労などの更年期障害を改善します。

### 注射方法

プラセンタ療法で効果を得やすいのは、最初の2か月間ほどは週2〜3回の注射を継続して受け、経過を観察しながら頻度を変えていく方法です。体調が良くなってきたら、その後はご自分の体調に合わせてご利用ください。

### ウィルスや細菌に対する安全性

本剤は製剤過程において、以下の汚染防止対策を行っています。

①原料提供者のスクリーニング（医療機関での検査・確認）

②受け入れ検査（B型肝炎・C型肝炎・エイズウィルスの検査）

③ウィルスの不活化処理（有機溶剤処理・酸処理・高圧蒸気滅菌処理）

④製品試験（②に加え、成人T細胞白血病・リンゴ病のウィルス検査を実施）

### 副作用

①注射部位の疼痛。過敏症（発疹・発熱・掻痒感）。注射部位の硬結。（通常2〜3日で消失）

②本剤はヒト組織由来のタンパク・アミノ酸等を含有する製剤の為、非常に稀ですがショックを起こすことがあります。

③その他：女性化乳房、急性肝障害



## 注意事項

プラセンタ注射は、原料として国内のヒト胎盤が使用されていますが、生体由来のため感染症のリスクがある製剤として特定生物由来製薬の指定を受けています。原料となる胎盤は HIV や B 型肝炎・C 型肝炎などの感染症がないことが確認されています。未知のウイルスやクロイツフェルト・ヤコブ病の病原体プリオンの様に加熱殺菌により病原性を失わない病原体の存在など完全否定はできません。このため一度でもプラセンタを使用した人は、献血ができません。また臓器提供は原則として控えることが求められていますが、移植希望者が移植医から適切な説明を受けた上で、提供を受ける意思を明らかにしている場合の提供は可能です。

\*昭和 49 年の製品発売以来、現在まで B 型肝炎/C 型肝炎/HIV/クロイツフェルト・ヤコブ病などの感染症の報告はありません。

\*注射以外のプラセンタには献血や臓器提供の規制はありません。注射に抵抗のある方などには、プラセンタサプリメントのお取り扱いもあります。

プラセンタ注射の使用に同意される方は、以上の説明を充分にご理解いただいたうえでご署名下さい。なお、当院では施術は 20 歳以上の患者様に限らせていただきます。ご不明点等ございましたら、医師・スタッフにご相談下さい。

---

## プラセンタ注射同意書

私は、上記のプラセンタ注射の作用、副作用および安全性について充分に理解し、  
プラセンタ注射を使用することに同意します。

年 月 日

お名前

---



東京はなクリニック  
Tokyo Hana Clinic